

日米高校生サミット in 陸前高田2012

タイトル	日米高校生サミット in 陸前高田2012
日時	2012年7月15日(日)
会場	陸前高田市役所 大会議場
内容	<p>国際交流基金による「米国JET(外国人指導助手)記念高校生招へい事業」は、東日本大震災で犠牲となった2人のJETの業績をたたえ、将来日米の懸け橋となる若者を育成しようと、日本文化などを学ぶアメリカ人高校生32人を招待しました。</p> <p>7月11日から25日(水)までの15日間、国際交流基金関西国際センター(大阪府)での日本語研修を軸とした日程が組まれている。</p> <p>陸前高田の来訪日程に合わせ、当団体は来日高校生に住民との交流を通じた愛着を持たせるとともに、気仙の高校生にも海外とのつながりを体感してもらおうと企画しました。</p> <p>高田高校生15人、大船渡高校生11人の計26人の参加がありました。</p> <p>代表生徒によるスピーチに続き、7、8人ずつに分かれて「将来のために一緒にやれることは何だろう～国境を越えた絆の価値～」をテーマとした討議が行われました。</p> <p>気仙の高校生は英語で、アメリカ人高校生は日本語を織り交ぜながら意見交換。前半は緊張気味の様子が目立ったが、後半は笑い声も響き渡りました。</p> <p>グループごとに模造紙に意見をまとめ、英語と日本語で討論内容を報告。</p> <p>「絆を強めるために日米の文化交流促進が重要」といった提言のほか、インターネットを活用したコミュニケーションの重要性を挙げるグループが多く見られました。</p> <p>※一部、東海新報社様の記事を引用させて頂きました。</p>
主催 共催 後援	主催：NPO法人陸前高田市支援連絡協議会AidTAKATA 共催：国際協力基金、はなそう基金 後援：陸前高田市教育委員会、陸前高田市

日米高校生サミット in 陸前高田2012

